※別添仕様書は、仕様内容の主な部分を抜粋したものであり、入札にあたっては、別途配布している入札説明書等をご確認のうえ、必要な手続きを行っていただくようお願いします。

入札説明書等は電子調達システム（https://www.p-portal.go.jp）からも入手可能です。

工事概要・特記仕様書

工事名称	木曽川水系土地改良調査管理事務所宮川支所庁舎解体撤去その他工事（Ⅱ期）
工事場所	三重県伊勢市勢田町字岩崎６２８番６
工事内容	①木曽川水系土地改良調査管理事務所宮川支所庁舎解体撤去工事
	庁舎は地上部については解体済のため、基礎及びＲＣ杭のみ解体撤去・埋戻し。
	②その他工事
	建物解体に伴う電気・機械設備機器等解体撤去（浄化槽・オイルタンク等）
	外構物の解体撤去
	解体後の敷地整地
一般共通事項	・関係法令を遵守し適切に解体及び処分を行う事。
	・施工に先立ち施工計画書を作成し担当者の承諾を得る事。　・工程表
	・仮設計画　施工計画　処理計画
	・工事写真～着工前・工事中・処分運搬・完了等各１部
	・発生材の処分～各法律に基づき適正に行う。再資源が可能な物は再資源化を図る事。
	・設計GL～撤去後の整地レベルは現況レベルより100mm程度下げるものとする。
仮設工事	・外部足場及び防音パネル等を設ける事。
	・工事用電源及び用水、既存の施設は利用できない。
解体工事	・建材及び設備配管材にアスベストは使用されていないかを確認し、関連諸法を遵守し適正に処理する。
	なお、アスベスト含有調査は解体工事に先立ち実施しているため、調査報告書を貸与する。
	・照明器具のＰＣＢ使用を確認し、使用品については発注者に引渡しを行う。
	・解体は関係法令を遵守し、油圧圧搾機等の騒音や振動の少ない機械を使用する事。
整地工事	・解体後は、敷地内を整地・転圧する。
その他注意事項	・本工事に必要な請負者が行うべき官公庁等手続きは請負者の負担により遅滞なく行う事。
	・本工事に当たり十分な安全対策に配慮し、通行人、近隣等に危害、迷惑を及ぼす事の無い様にする事。
	・本設計に記載なき事項でも必要な安全対策は十分に行う事。
	・給水引き込み管は残置し、敷地内にてバルブ止めとする。
	・排水最終桝は残置し、閉塞処理を行う。
	・不法占拠防止柵は「不法占拠防止柵設置仕様書」により設置する。

図面リスト

建築		電気設備		機械設備	
Ａ－０１	工事概要・特記仕様書・図面リスト	Ｅ－０１	電気設備（撤去）幹線・動力図	Ｍ－０１	機械設備（撤去）換気・給排水設備
Ａ－０２	解体工事特記仕様書	Ｅ－０２	電気設備（撤去）電灯コンセント設備図	Ｍ－０２	機械設備（撤去）給排水設備（便所詳細図）
Ａ－０３	敷地案内図・配置図			Ｍ－０３	機械設備（撤去）空調・換気設備　詳細図（１）
Ａ－０４	庁舎（解体）平面図・屋根伏図			Ｍ－０４	機械設備（撤去）空調・換気設備　詳細図（２）
Ａ－０５	庁舎（解体）立面図				
Ａ－０６	庁舎（解体）断面詳細図（１）				
Ａ－０７	庁舎（解体）断面詳細図（２）				
Ａ－０８	庁舎（解体）天井伏図				
Ａ－０９	撤去建具表（１）				
Ａ－１０	撤去建具表（２）				
Ａ－１１	撤去建具表（３）				
Ａ－１２	構造図　庁舎（解体）伏図・柱リスト（新築時）				
Ａ－１３	構造図　庁舎（解体）梁・スラブリスト（新築時）				
Ａ－１４	構造図　庁舎（解体）構造詳細図（新築時）				
Ａ－１５	構造図　庁舎（解体）伏図・柱梁リスト（増築部）				
Ａ－１６	解体前後　外構図				
Ｃ－０１	仮設参考図				

敷地面積			787.99 ㎡	

解体面積

No.	名称		建築面積	延床面積	構造仕様
①	庁舎		177.47 ㎡	388.35 ㎡	RC造 2階建
②	車庫		19.87 ㎡	19.87 ㎡	補強CB造 1階建
③	車庫		29.96 ㎡	29.96 ㎡	軽量鉄骨造 1階建
④	燃料庫		4.60 ㎡	4.60 ㎡	鉄骨造 1階建
合計				442.78 ㎡	
⑤	既設ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装撤去			49.693 ㎡	
⑥	既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去			443.175 ㎡	

木曽川水系土地改良調査管理事務所宮川支所庁舎解体撤去その他工事（Ⅱ期）

工事概要・特記仕様書・図面リスト

農林水産省東海農政局会計課

木曽川水系土地改良調査管理事務所宮川支所庁舎解体撤去その他工事（Ⅱ期）

特記仕様書

Ⅰ． 工事概要
1.工事場所　三重県伊勢市勢田町字岩崎628番６
2.工事種目

番号	名称	工事種別	構造	様又は箇所	数量	単位	備考
1	庁舎(事務所)	解体撤去	鉄筋コンクリート造２階建		1	式	地下部のみ
2	舗装	同上	コンクリート舗装 アスファルト舗装		1	式	
3	屋外排水設備	同上			1	式	
4	雑工作物	同上			1	式	
5	電気設備	同上			1	式	
6	機械設備	同上			1	式	
7	解体跡地整備	同上	整地		1	式	
8	不法占拠防止柵設置	同上	有刺鉄線柵（木柵）		1	式	

3.指定部分　⊙ 無 ・ 有 （ 工期:令和 年 月 日）

4.工　期　本工事のしゅん工期日は 令和5年8月31日とする。

Ⅱ． 工事仕様
1.共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書」（平成18年度版）（以下、「解体共仕」という。）による。

2.特記仕様
(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙印のついたものを適用する。

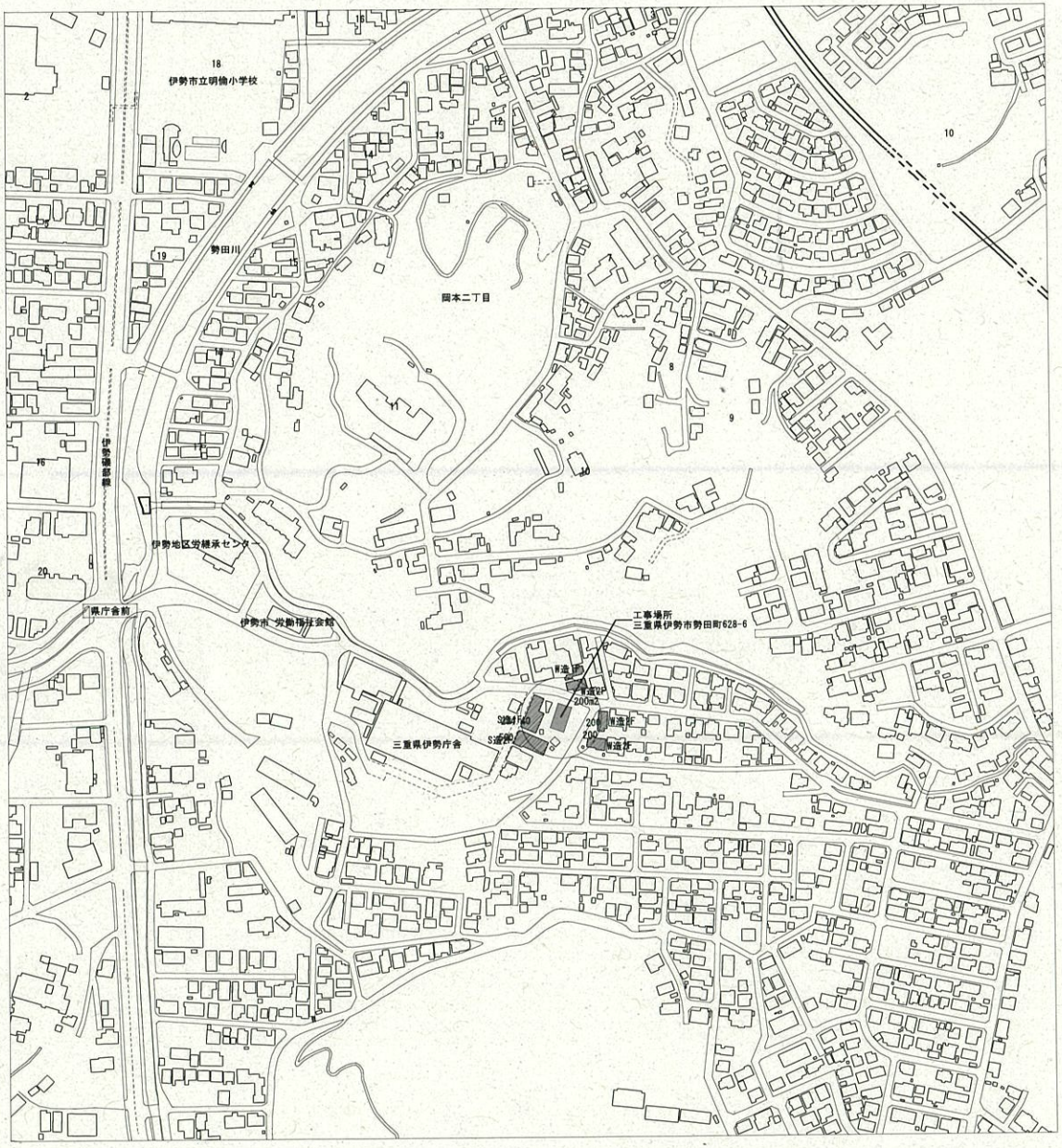
⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1章 一般共通事項	① 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図(平成28年度版) ⊙ 公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版) ⊙ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版) ⊙ 工事写真の撮り方(改訂版)建築編 ⊙ 工事写真の撮り方設備工事編 （以上 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
	② 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、開発官公署その他の関係機関への必要な手続等を遅滞なく行う。 (建築物解体工事共通仕様書解説 表1.2解体工事施工者が行う主な許可申請及び届出)による。
	③ 工事実績情報の登録	※要(提出先:((財)日本建設情報総合センター) ・ 不要 (1. 1..4)
	④ 関係法令等の遵守	※工事の施工に当り、適用を受ける関係法令を遵守し、工事の円滑を振興を図る。 (1. 1.13)
	⑤ 建設副産物対策等の責任者	⊙ 建設副産物対策の責任者を選任し、監督職員に報告する。 (1.3..2) ・ 特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 ⊙ 産業廃棄物処理責任者を選任し、監督職員に報告する。
	⑥ 電気保安技術者	※適用する ⊙ 適用しない (1. 3..3)
	⑦ 施工条件	工程関係 (1.3.5) ⊙ (監督職員と打合せによる) 用地関係 ⊙ (監督職員と打合せによる) 公害関係 ⊙ (監督職員と打合せによる) 安全対策関係 ⊙ (監督職員と打合せによる) 工事用道路関係 ⊙ (監督職員と打合せによる)
1章 一般共通事項	⑦ 施工条件	仮設備関係 (1.3.5) ⊙ (監督職員と打合せによる) 建設副産物関係 ⊙ (監督職員と打合せによる)
	8 施工中の安全確保	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者の選任 (1.3.7) 労働安全衛生法施行令第6条第15号の2の作業については、建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者を選任し配置すること。 ・ 引渡しを要するもの （下表による） (1.3.10) ・ 場外搬出適切処分(再資源化等については4及び5章による) 品 名 ｜ 集積場所 ※撤去部にアスベスト、鉛等の有害物資を含む材料が使用されている場合は、監督員と協議する。
	⑩ 工事写真	(1.2.3) ※着工前、工事中、完了時、カラー、サービス版、枚数は適宜２部をA4版に貼付け提出する。
2章 仮設工事	① 騒音・粉塵等の対策	⊙ 防音パネル (2.2.1) ・ 防音シート ・ （ ） ・ 防音パネル等を取付る足場等の設置範囲 （外壁から1m離れた部分） 高さ ・ （ m）
	② 監督職員事務所	※設けない ・ 設ける （ ） (2.3.1)
	③ 工事用水・電力	構内既存の施設 (2.3.1) ・ 利用できる(有償 ・ 無償) ⊙ 利用できない
	④ 交通誘導員	⊙ 配置する （１） 人 ・ 日
3章 解体施工	① 使用機械	※ 本工事で使用する機械は低振動型、低騒音型とする。
	② 杭の解体	杭の種別 ⊙ RC杭 ・ PC杭 ・ 鋼管杭 (3.8.2) 杭の口径 ⊙ (図示) 杭頭出し ⊙ 32 本 注）解体した庁舎跡地すべてに杭がないか杭頭出しを行い、新たに杭頭が出てきた場合は監督職員に報告するとともに協議を行い、指示があってから杭頭の処理行うものとする。 ・ 残置する(記録を図面整備し監督職員に提出する)
	③ 杭の解体工法	⊙ 引抜き工法 (3.8.2) ・ 破砕工法
	④ (構内舗装等)樹木等の伐採抜根及び移植	・ 敷地内樹木 ・ 図示の範囲 ・ 伐採 (3.9.1) ⊙ 抜根 ・ 移植 ※ 図示
	⑤ 地下埋設物・埋設配管等	(3.10.1) ⊙ 地下埋設物の解体(建物及び工作物基礎、受水槽、浄化槽ほか) ・ 地下埋設配管等の解体(給水、排水、ガス、電気ほか)
	⑥ 整地・埋戻し盛土	設計GL ※ 図示 (3.11.11) ※ 解体撤去後の埋戻しは(⊙ 購入土 ・ 再生クラッシャラン ・山砂 ・現場発生土)を用いて埋め戻し高さは監督職員と打合せによる
	⑦ その他	⊙ 工事により、土壌改良材等を土中に混入させる場合は、事前に監督職員の了解を得ておくこと。 ⊙ 工事完了後には、土中に入れた土壌改良材等の数量、成分の分かる書類を提出すること。。 ⊙ 発生材のうち金属については、現地に材質毎に分類して存置する。また、材質毎の数量の分かる書類を提出すること
4章 建設廃棄物の処理	① 再資源化等	建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 (4.4.1) 再資源化を図るもの 品名 ｜ 受入施設名 ｜ 所在地 ⊙ コンクリート ⊙ アスファルト ⊙ 廃棄プラスチック類 ⊙ ガラス・陶磁器くず ⊙ 木くず ⊙ 繊維くず ⊙ 廃石膏くず ⊙ 建設混合廃棄物 ・ ・ 注）上記については、処理施設を指定するものではない。
4章 建設廃棄物の処理	1 再資源化等	その他の廃棄物(安定型処分場) (4.4.1) 品 名 ｜ 受入施設名 ｜ 所在地 注）上記については、処理施設を指定するものではない。 その他の廃棄物(管理型処分場) (4.4.1) 品 名 ｜ 受入施設名 ｜ 所在地 注）上記については、処理施設を指定するものではない。
	2 産業廃棄物広報認定制度	(4.4.2) ・ 廃棄物処理法による産業廃棄物の広域的処理に係る特例により建設廃棄物を処理する。 対象産業廃棄物 ｜ 認定をうけた者
	③ 再資源化完了報告書等	(4.4.3) ⊙ 特定建設資材廃棄物の再資源化が完了した時は、建設リサイクル法による「再資源化等完了報告書」又は「建設リサイクル推進進に係る実施事項について(建設リサイクルガイドライン)」(平成14年5月30日国営計第25号)による再生資源利用促進計画書(実施書)を監督職員に提出する。
	4 処理に注意を要する建設廃棄物	・ CCA処理木材(・土台 ・大引 ・根太)は適切な (4.5.1) 燃焼・排ガス処理設備を有する廃棄物処理施設での焼却処分又は管理型最終処分場での埋立処分とする。 ・ ひ素混入石膏ボード 表示マーク「吉野石膏OY」 ロット番号 0373～0497 小名浜吉野石膏(株)いわき工場で、昭和48年3月～平成9年4月に製造されたもの。 ・ カドミウム混入石膏ボード 表示マーク 日東石膏ボード株式会社 ロット番号A4Y410～A9430 日東石膏ボード(株)八戸工場で、平成4年10月～平成9年4月に製造されたもの。 ひ素・カドミウム混入石膏ボードは製造業者に処分を依頼する。 製造業者による処分が困難な場合は、関係法令等に従い管理型処分場で処分する。
5章 特別管理産業廃棄物等の処理	① 特別管理産業廃棄物の処理計画	⊙ 特別管理産業廃棄物(廃石綿等) (5.1.3) ⊙ 調査項目(以下による) 収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件、受入条件 特別管理産業廃棄物等の分析調査 ・ 有 ・ ⊙無 ・ 特殊な建設副産物 ( ) ・ 調査項目(以下による) ・ 設備機器調査項目(以下による) 特別管理産業廃棄物等の名称、機器名、製造所名、製造年、型式等 ・ 建築資材調査項目(以下による) 特別管理産業廃棄物等の名称、製造所名、表示マーク等
	2 PCB含有シーリング材	・ 分析調査を行う (5.4.4) (1972年以前に施工されたポリサルファイド系シーリング) 第一次判定のためのサンプル採取は、日本シーリング工業会の採取マニュアルによる。
	③ 廃油	(5.4.5) ⊙ 油タンク等を解体・撤去する前にタンク内部に残留している油及びスラッジを完全に抜き取り、油タンクはアルカリ洗浄水を塗布のうえ、ブラッシングで油分をとり水洗いする。
	4 廃酸廃アルカリ	(5.4.6) ・ 吸収式冷凍機、直だき吸収式冷温水発生機等の臭化リチウム水溶液等は、施工調査により、吸収液の内容を機器製造所に確認し、適切な回収装置により回収する。
	⑤ 特殊な建設副産物の回収及び処分	⊙ PCBを含む機器類 (5.5.1) PCBの飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所保管し調書を作成して、監督職員に引渡す。 ⊙ 廃油 (5.4.5) オイルタンク、オイルサービスタンクの残油は、関係法令等に従い、回収し、中間処理施設で再生処理又は焼却処分をする。 ・ 臭化リチウム水溶液等(廃アルカリ) 製造業者又は専門業者に回収を委託し、吸収液製造業者等で再生処理する。
5章 廃棄物等の処理等 特別管理産業	5 特殊な建設副産物の回収及び処分	・ 鉛蓄電池の電解液及びアルカリ蓄電池の電解液 電解液、プラスチック類、鉛あるいはカドミウム、その他に分ける。電解液は中和処理し、その他の材料は再資源化が可能なものは再資源化する。
	6 フロン類の回収及び処分	・ 冷凍機の冷媒は、登録回収業者に回収を委託し、 (5.5.2) フロン類破壊業者により破壊又は再生利用する。
	7 ハロンの回収及び処分	・ ハロン消化設備設置業者に回収を委託し、 (5.5.2) 再利用又は保管する。
6章 アスベスト含有建材の除去等	① 施工調査	石綿の使用状況の調査は、貸与する調査書のとおり調査済みであるが、調査書を精査の上、調査が必要と判断した場合は監督職員に申し出ること。 ⊙ 石綿の使用状況の調査は、石綿作業主任者、石綿に関する特別教育受講者、アスベスト診断士(社団法人 日本石綿協会認定)により、下記事項ついて行う (6.1.3) ①アスベスト含有吹付け材 アスベスト含有吹付け材の種類と含有率、施工部位、使用時期、商品名 ②アスベスト含有保温材等 アスベスト含有保温材の種類と含有率、施工部位、使用時期、商品名 ③アスベスト含有成形板 アスベスト含有成型板材の種類と含有率、施工部位、使用時期、商品名
	② 分析によるアスベストの含有の調査	⊙ 現場から試料を採取して分析調査を行い、その素材にアスベストが含まれているか否かを確認する。 (6.1.3)
	③ アスベスト粉じん濃度測定	⊙ アスベスト粉じん濃度測定の時期(下記による) (6.1.4) 処理作業前、処理作業中、処理作業後(シート養生中)、処理作業後(シート撤去後1週間以内) ⊙ 測定場所(作業場内、作業場外部の付近、負圧・除じん排出ふき出し口) ⊙ 測定点数 4 点
	④ 施工の記録	⊙ アスベスト含有建材の除去等については工事の記録に次の施工記録を請負者が整備し、監督員に提出する。 施工計画書、工事記録及び工事写真、産業廃棄物処理記録、施工調査等記録、作業者の作業記録、その他必要事項。
	⑤ 表示及び掲示	⊙ アスベスト作業主任者名と職務内容、関係者以外立入禁止、喫煙、飲食の禁止、アスベスト除去作業中の表示を行う。 (6.2.4)
	⑥ 特定粉じん排出等作業の掲示板	⊙ 特定粉じん排出作業の届出内容、粉じん飛散抑制措置。ばく露防止措置等のお知らせ看板を見やすい個所に掲示すること。 (6.2.4)
	⑦ アスベスト含有吹き付け材の除去工法	(6.3.2) ⊙ アスベスト含有吹付け材の除去工法 ※湿式工法
	⑧ 除去物及び汚染物等の処理	⊙ 除去したアスベスト含有吹付け材等の処理 (6.3.2) ※密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化
	⑨ アスベスト含有保温材等の除去工法	⊙ アスベスト含有保温材等の除去 (6.4.2) ※手ばらし(粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後)
	⑩ 除去物及び汚染物等の処理	⊙ 除去したアスベスト含有保温材等の処理 (6.4.2) ※密封処理(二重袋梱包)
	⑪ 除去したアスベスト等の処分	⊙ 管理型処分場に埋立処分する。 (6.3.3) (6.4.3) 処分場については4章による。
	⑫ アスベスト含有成形板の除去工法	⊙ アスベスト含有成形板の除去 (6.5.2) ※手ばらし(湿潤化状態の後)
	⑬ アスベスト含有成形板の処分	⊙ マニュフェストの備考欄にアスベスト含有成形板であることを明示し安定型処分場に処分する。 (6.5.2) (処分場等については4章による。)
7章 CORINS		・一般財団法人日本建設情報総合センター(JACIC)が運営する工事実績情報システム、コリンズ(CORINS)への登録を行う。 技術者の十字期間は、契約(変更の場合は、変更契約)工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。
8章 環境負荷低減に向けた取組		環境負荷低減に向けた取組 (1) 環境関係法令の遵守 受注者は、業務の提供に当たり、関連する環境関係法令を遵守するものとする。なお、本業務の実施に関連すると考えられる主な法令の例を、次に掲げる。 ① 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分 ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号) ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(令和3年法律第60号) ② 環境関係法令の遵守等 ・労働安全衛生法(昭和47年法律第57号) (2) 環境関係法令の遵守以外の事項 受注者は、業務の提供に当たり、新たな環境負荷を与えることにならないよう、以下の取組に努めるものとする。 ・エネルギーの削減の観点から、オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状の記録・保存や、 不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組(照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等)の実施に努めること。 ・プラスチック等の廃棄物の削減に努めるとともに、資源の再利用を検討すること。 ・物品調達に当たっては、エネルギーの節減及び生物多様性への悪影響の防止等の観点から、環境負荷低減に配慮したものの調達に努めること。 ・みどりの食料システム戦略の理解に努める、もしくは、環境配慮の取組方針の策定や研修の実施に努めること。

木曽川水系土地改良調査管理事務所宮川支所庁舎解体撤去その他工事（Ⅱ期）

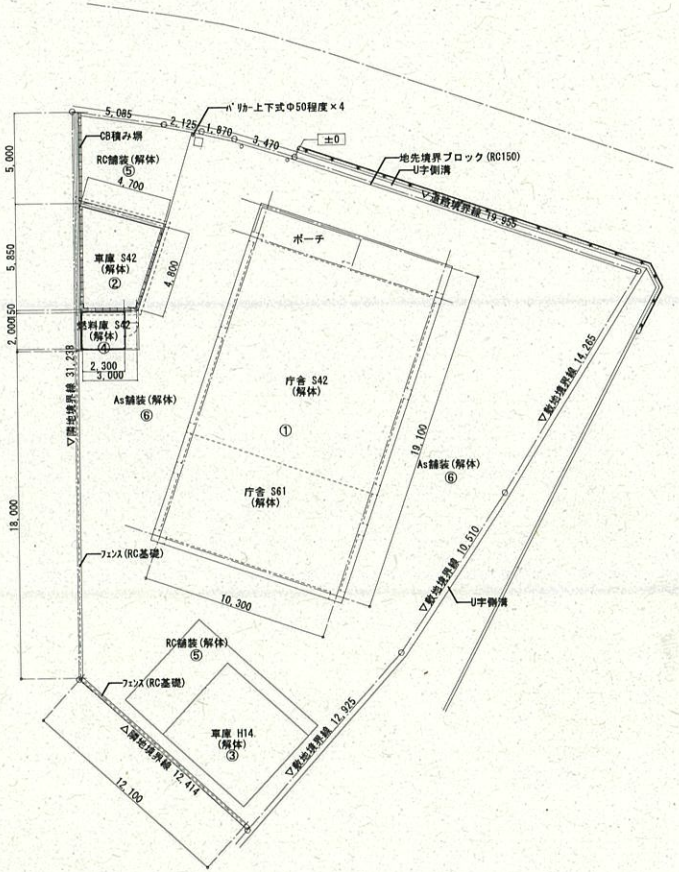
解体工事特記仕様書

農林水産省東海農政局会計課



付近見取図 1/2500

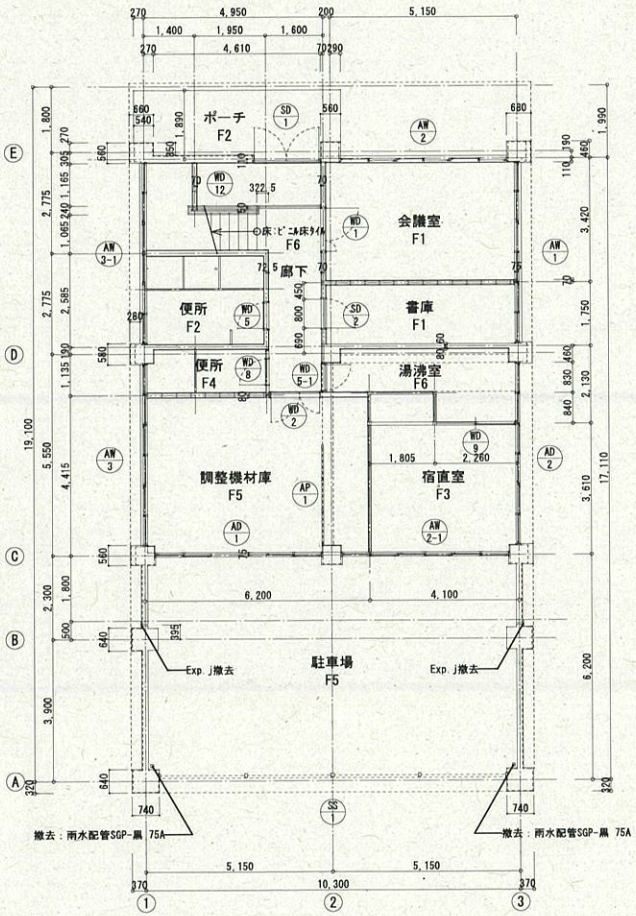
近隣家屋調査建物を示す。



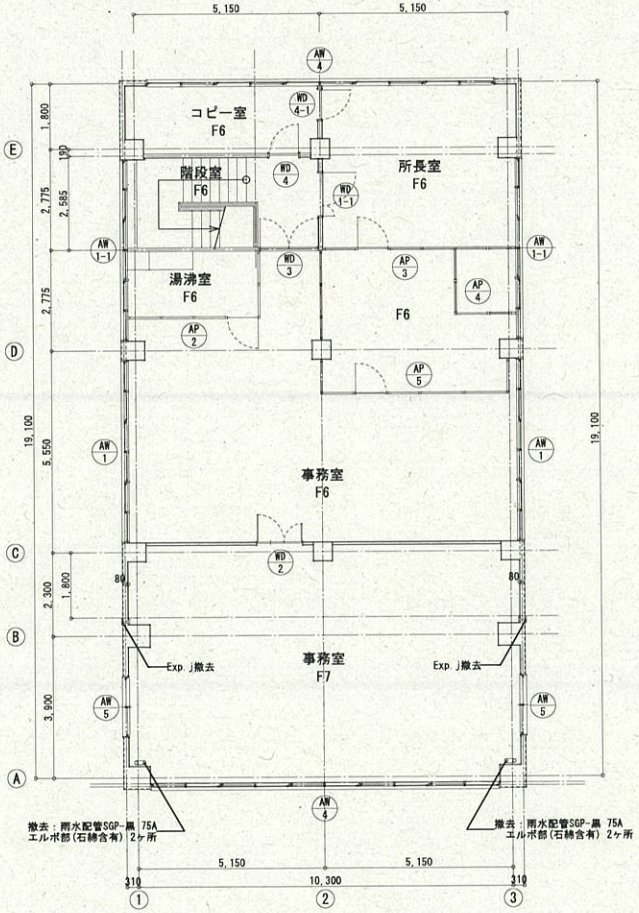
配置図 1/200

特記		製図 訂正		物件名	木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号 (A - 03) 28 枚の内 03
				図 名	敷地案内図・配置図		縮 尺 A2：図示

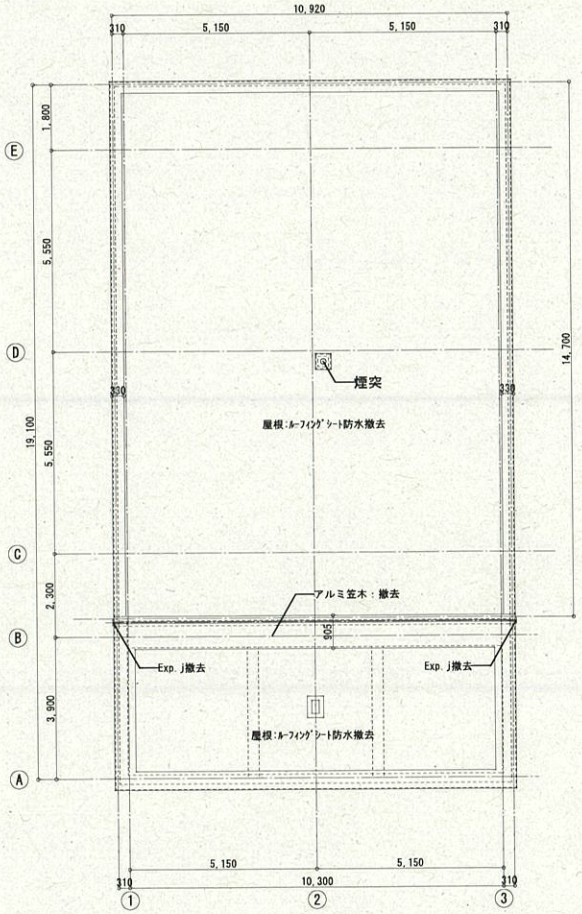
株式会社アーキテクトウイング設計事務所
一級建築士事務所 い-30 第10527号
管理建築士 一級建築士第248095号 山田基弘



庁舎① 1階平面図



庁舎① 2階平面図

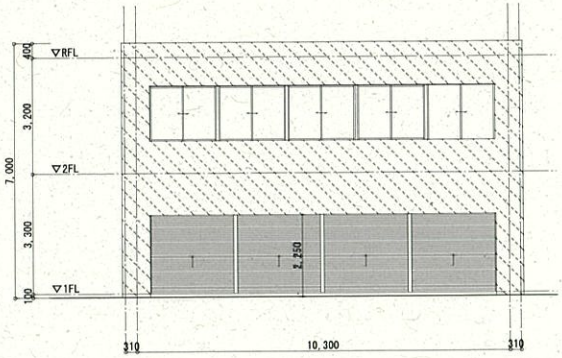


庁舎① 屋根伏図

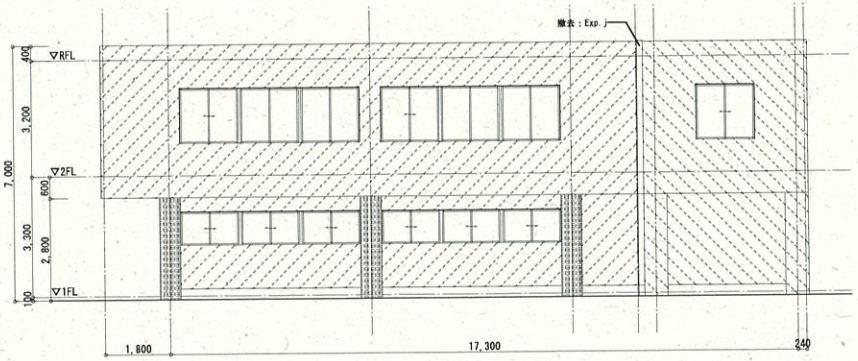
床仕上凡例(撤去)			
F1	モルタル金コテ仕上げ	F6	コンクリート金コテ仕上の上、ビニル床タイル
F2	モルタル下地の上、タイル貼り	F7	コンクリート金コテ仕上の上、ビニル床シート
F3	木製束立床組の上、合板t15+畳t55	**	撤去建具を示す。
F4	コンクリート金コテ仕上の上、塗床		
F5	コンクリート金コテ仕上		

特記		製図 訂正	物件名 木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号 (A - 04) 28 枚の内 04
			図 名 庁舎(解体) 平面図・屋根伏図		縮 尺 A2：1/100

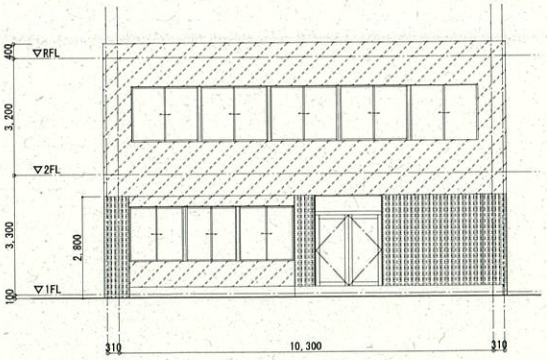
株式会社アーキテクトウイング設計事務所
一級建築士事務所 い-30 第10527号
管理建築士 一級建築士第248095号 山田基弘



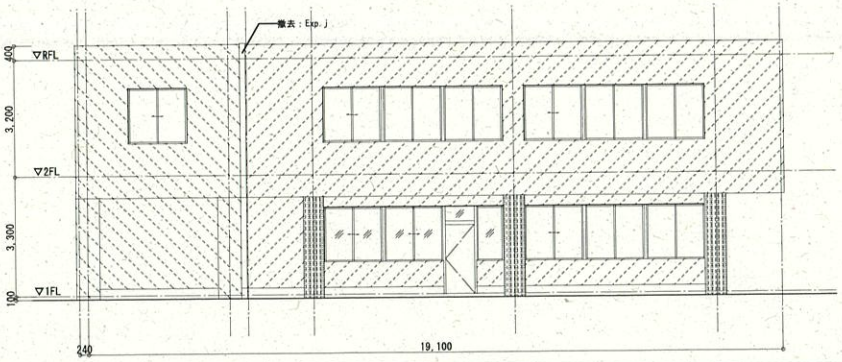
庁舎① 南立面図



庁舎① 西立面図



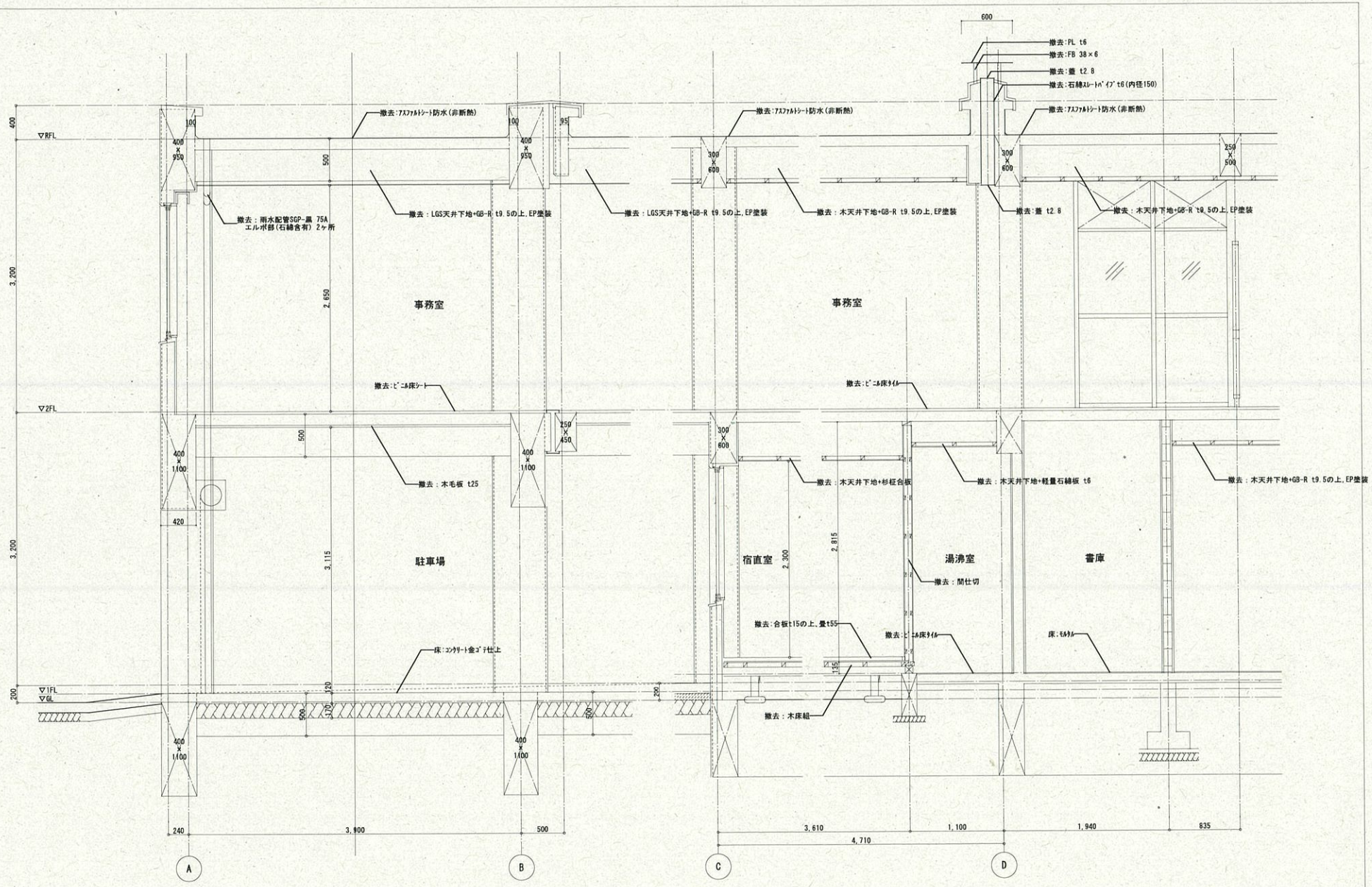
庁舎① 北立面図



庁舎① 東立面図

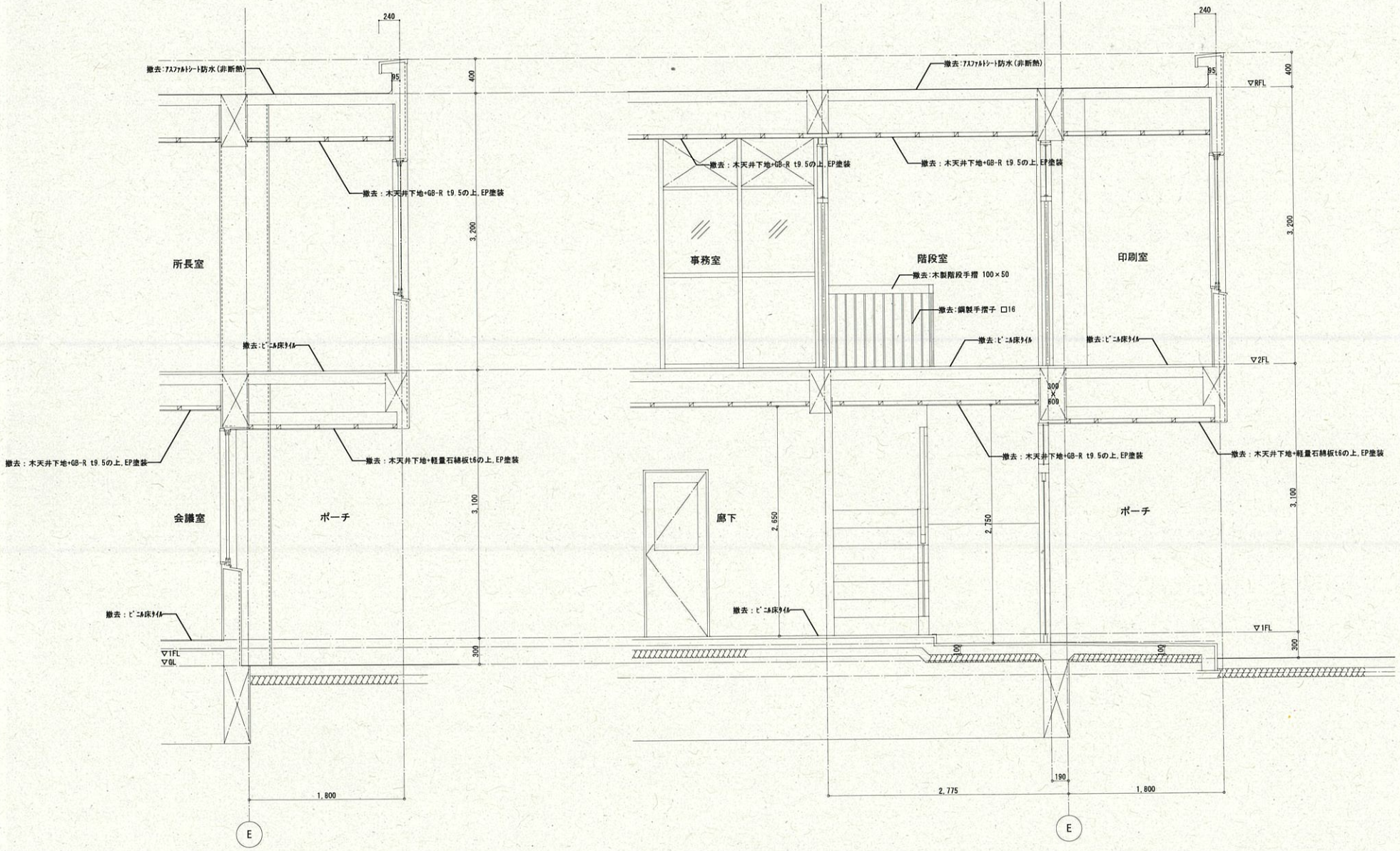
撤去：タイルを示す。
撤去：可とう系複層塗材をしめす。
撤去：可とう系複層塗材(石綿含有)をしめす。

特記		製図 訂正	物件名	木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号 (A - 05) 28 枚の内 05	株式会社アーキテクトウイング設計事務所
			図 名	庁舎(解体) 立面図		縮 尺 A2：1/100	一級建築士事務所 い-30 第10527号 / 管理建築士 一級建築士第248095号 山田基弘



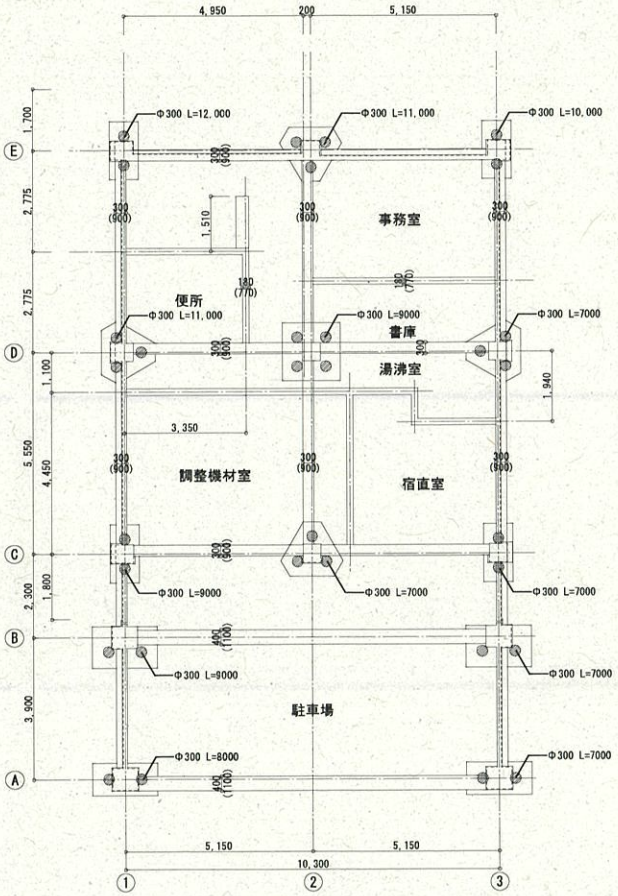
庁舎① 断面詳細図(1)

特記		製図 訂正	物件名	木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号 (A－06) 28 枚の内 06	株式会社アーキテクトウイング設計事務所
			図 名	庁舎(解体) 断面詳細図(1)		縮 尺 A2：1/30	一級建築士事務所 い-30 第10527号 / 管理建築士 一級建築士第248095号 山田基弘



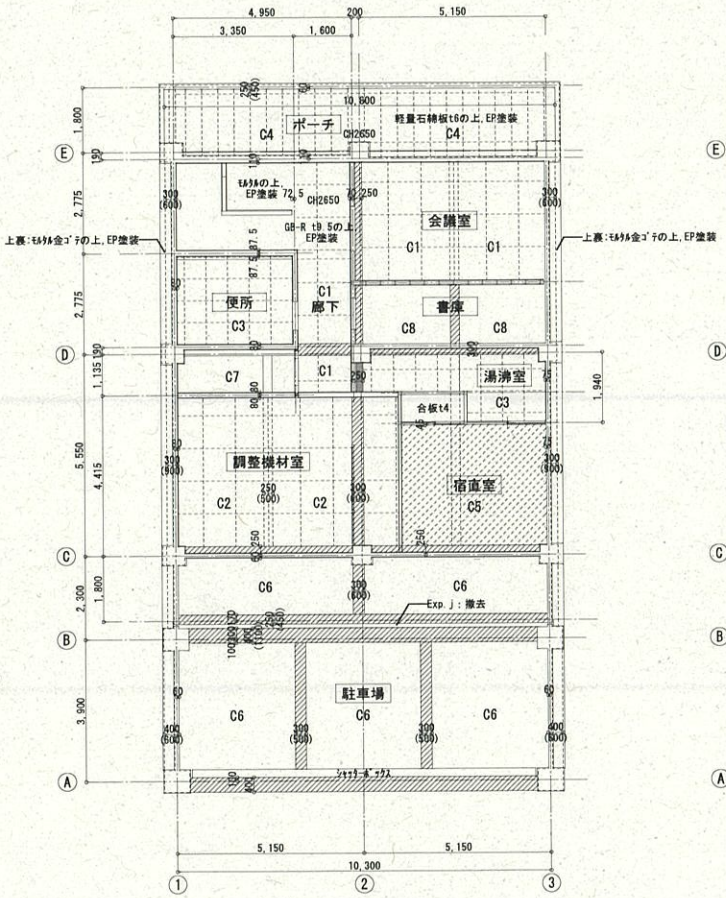
庁舎① 断面詳細図(2)

特記		製図 訂正	物件名 木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他 工事設計図	図面番号 (A - 07) 28 枚の内 07	株式会社アーキテクトウイング設計事務所	
			図 名 庁舎(解体) 断面詳細図(2)	縮 尺 A2：1/30	一級建築士事務所 い-30 第10527号	管理 建築士 一級建築士第248095号 山田基弘



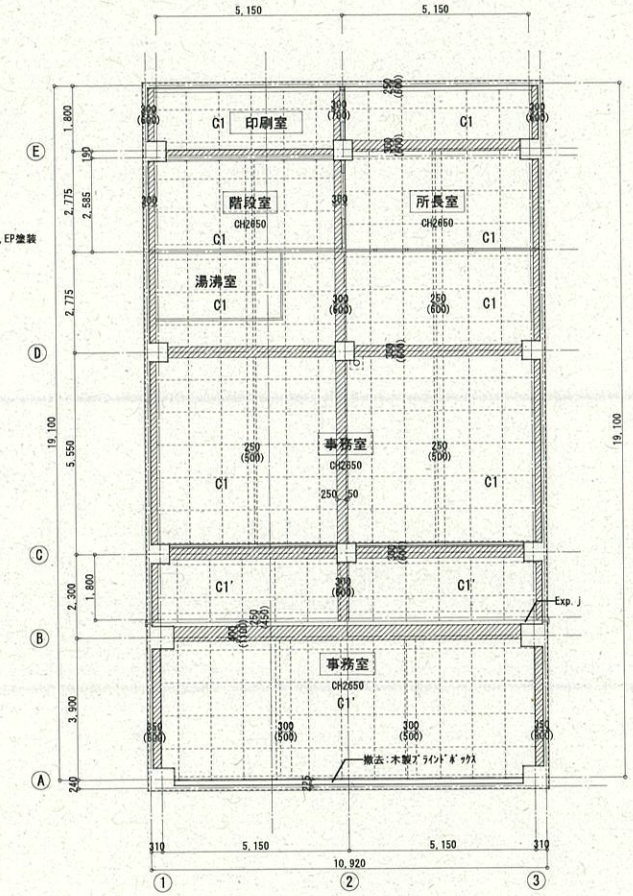
庁舎① 基礎伏図

( ) 梁背を示す。
撤去:杭を示す。



庁舎① 1階天井伏図

( ) 梁背を示す。
梁表しを示す。



庁舎① 2階天井伏図

( ) 梁背を示す。
梁表しを示す。

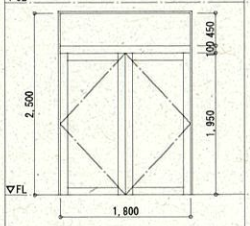
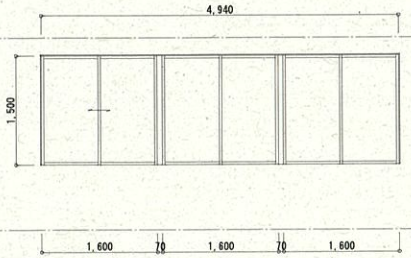
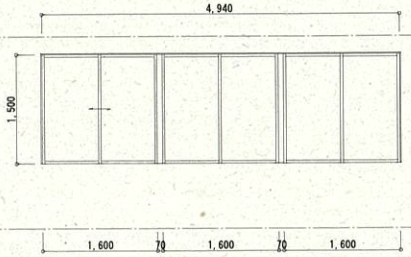
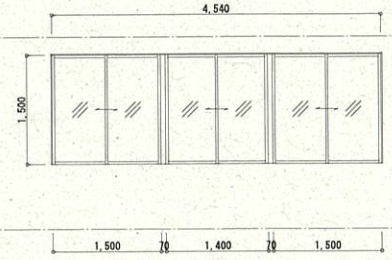
天井仕上凡例

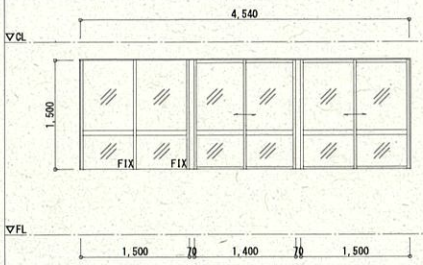
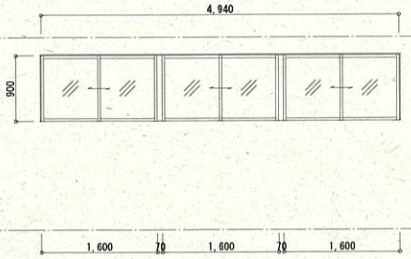
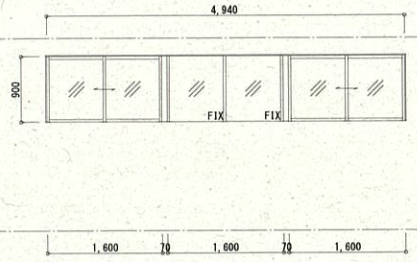
C1	木天井下地+GB-R t9.5の上,EP塗装	C5	木天井下地+杉柾合板
C1'	軽量鉄骨天井下地+GB-R t9.5の上,EP塗装	C6	木毛板 t25
C2	木天井下地+GB-R t9.5	C7	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し
C3	木天井下地+軽量石綿板 t6(石綿含有)	C8	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し,白ｾﾒﾝﾄ吹付け
C4	木天井下地+軽量石綿板t6の上,EP塗装(石綿含有)		

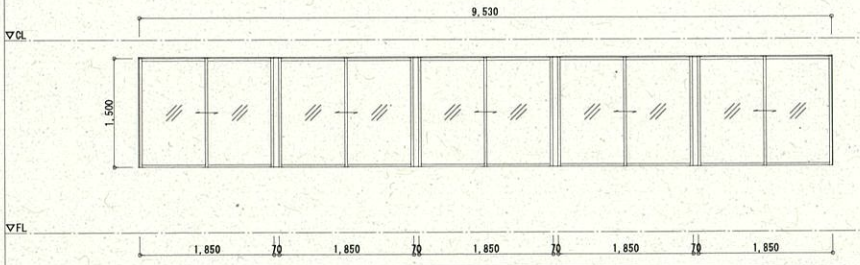
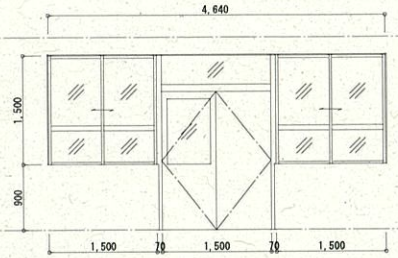
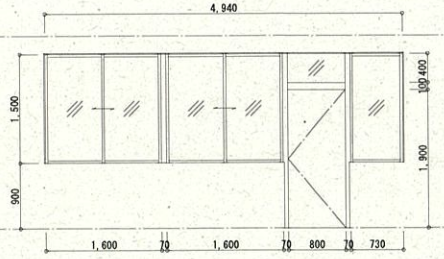
特記

製図 訂正	物件名	木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号 (A - 08) 28 枚の内 08
	図 名	庁舎(解体) 天井伏図		縮 尺 A2 : 1/100

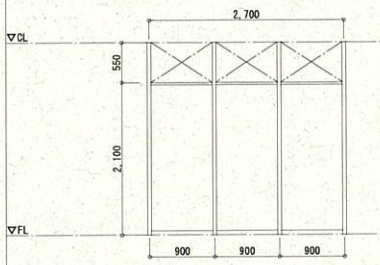
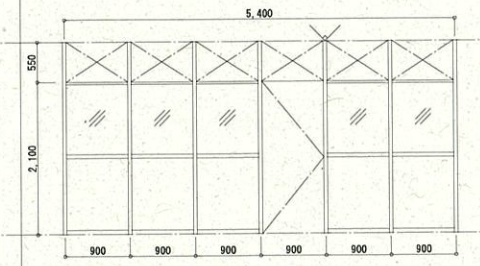
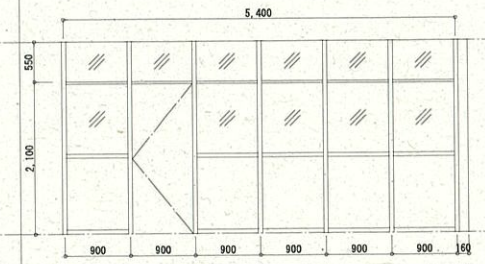
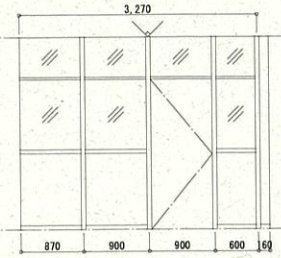
株式会社アーキテクトウイング設計事務所
一級建築士事務所 い-30 第10527号
管理建築士 一級建築士第248095号 山田基弘

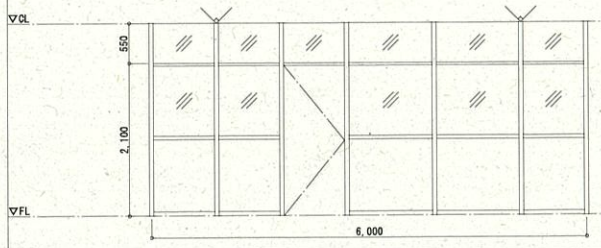
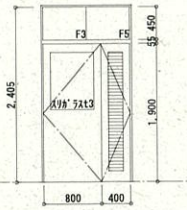
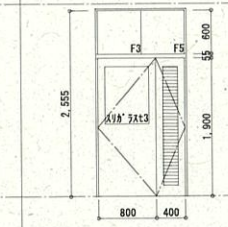
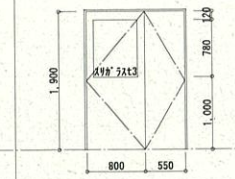
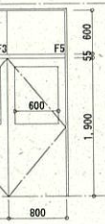
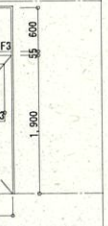
建具符号	SD 1 鋼製両開き板ドア 撤去	SD 2 片開フラッシュドア 撤去	AW 1 ｱﾙﾐ遮窓(引違窓+FIX窓) 撤去	AW 1-1 ｱﾙﾐ遮窓(引違窓+FIX窓) 撤去	AW 2 ｱﾙﾐ遮窓引違窓 撤去
姿図					
位置/数量	1F 玄関 1	1F 書庫 1	1F 事務室/2F 事務室 3	2F 事務室 2	1F 事務室 1
見込/仕上	40 t1.6 SOP塗装	40 t1.6 SOP塗装	70 電解着色	70 電解着色	70 電解着色
枠見込/仕上	120 SOP塗装	120 SOP塗装	40 木製SOP塗装	40 木製SOP塗装	- 木製SOP塗装
ガラス	F3	-	-	-	-
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	-	-	-	-	-

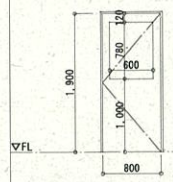
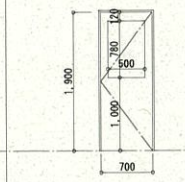
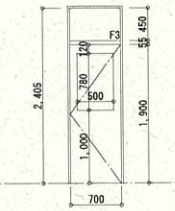
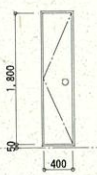
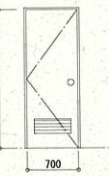
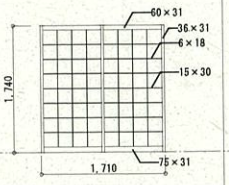
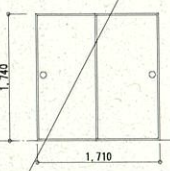
建具符号	AW 2-1 ｱﾙﾐ遮窓引違窓+FIX 撤去	AW 3 ｱﾙﾐ遮窓引違窓 撤去	AW 3-1 ｱﾙﾐ遮窓引違窓 撤去	AW 5 ｱﾙﾐ製引違い窓 撤去
姿図				
位置/数量	1F 宿直室 1	1F 調整機材室 1	1F 便所・階段室 1	2F 事務室 2
見込/仕上	70 電解着色	70 電解着色	70 電解着色	70 電解着色
枠見込/仕上	- 木製SOP塗装	- 木製SOP塗装	- 木製SOP塗装	40 木製SOP塗装
ガラス	網入り型板ガラス t6.8	F3	F3	F5
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	-	-	-	-

建具符号	AW 4 ｱﾙﾐ遮窓引違窓 撤去	AD 1 撤去	AD 2 撤去
姿図			
位置/数量	2F 事務室 2	1F 調整機材室 1	1F 湯沸室 1
見込/仕上	70 電解着色	70 電解着色	70 電解着色
枠見込/仕上	40 木製SOP塗装	70 木製SOP塗装	70 木製SOP塗装
ガラス	F5	40	40
付属金物	付属金物一式	網入り型板ガラス t6.8	網入り型板ガラス t6.8
備考		-	-

特記		製図 訂正	物件名	木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号	(A - 09) 28 枚の内 09	株式会社アーキテクトウイング設計事務所	
			図 名	撤去建具表(1)		縮 尺	A2 : 1/100	一級建築士事務所 い-30 第10527号	管理 建築士 一級建築士第248095号 山田基弘

建具符号	AP 1 アルミパーティション(棚間オープン) 撤去	AP 2 アルミパーティション(棚間オープン) 撤去	AP 3 ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(棚間ｶﾞﾗｽ) 撤去	AP 4 ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(棚間ｶﾞﾗｽ) 撤去
姿図				
位置/数量	1F 調整機材室 1	2F 湯沸室 1	2F 事務室 1	2F 事務室 1
見込/仕上	- -	- -	- -	- -
枠見込/仕上	60 -	60 -	60 -	60 -
ガラス	ﾊﾟﾈﾙ t4	型板ｶﾞﾗｽ,ﾊﾟﾈﾙ t4	ｽﾘｶﾞﾗｽt3,ﾊﾟﾈﾙ t4	ｽﾘｶﾞﾗｽt3,ﾊﾟﾈﾙ t4
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	- -	- -
備考				

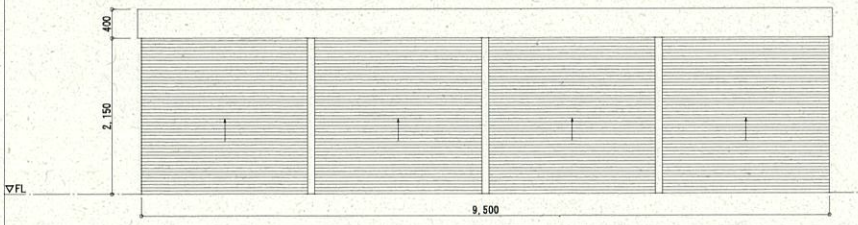
建具符号	AP 5 ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(棚間ｶﾞﾗｽ) 撤去	WD 1 木製親子ﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 1-1 木製親子ﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 2 木製親子ﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 3 木製両開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 4 木製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去
姿図						
位置/数量	2F 事務室 1	1F 事務室 1	2F 事務室 1	1F 廊下/2F 事務室 2	2F 廊下 1	2F 廊下 1
見込/仕上	- -	40 SOP塗装	40 SOP塗装	40 SOP塗装	40 SOP塗装	40 SOP塗装
枠見込/仕上	60 -	165 SOP塗装	165 SOP塗装	180 SOP塗装	105 SOP塗装	165 SOP塗装
ガラス	ｽﾘｶﾞﾗｽt3,ﾊﾟﾈﾙ t4	F3,F5,ｽﾘｶﾞﾗｽt3	F3,F5,ｽﾘｶﾞﾗｽt3	ｽﾘｶﾞﾗｽt3	F3,F5,ｽﾘｶﾞﾗｽt3	F3,ｽﾘｶﾞﾗｽt3
付属金物	-	-	-	-	-	-
備考	-	-	-	-	-	-

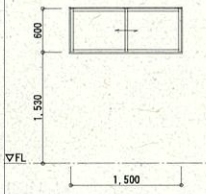
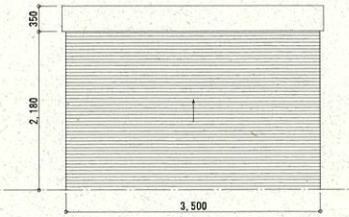
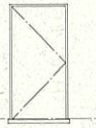
建具符号	WD 4-1 木製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	D 5 木製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	D 5-1 木製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 6 木製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 7 木製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 8 木製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 撤去	WD 9 障子 撤去	WD 10 ふすま 撤去
姿図								
位置/数量	2F 事務室 1	1F 便所 3	1F 湯沸室 1	- 1	- 1	- 1	1F 宿直室 1	1F 宿直室 1
見込/仕上	40 SOP塗装	40 SOP塗装	40 SOP塗装	40 SOP塗装	40 SOP塗装	40 SOP塗装	31.5 杉	21 ラワン合板の上、和紙
枠見込/仕上	165 SOP塗装	170 SOP塗装	125 SOP塗装	- SOP塗装	- SOP塗装	- SOP塗装	- SOP塗装	- -
ガラス	ｽﾘｶﾞﾗｽt3	ｽﾘｶﾞﾗｽt3	F3,ｽﾘｶﾞﾗｽt3	-	-	-	-	-
付属金物	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	-	-	-	-	-	-	-	-

特記

製図訂正	物件名	木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号 (A - 10) 28 枚の内 10
	図 名	撤去建具表(2)		縮 尺 A2 : 1/100

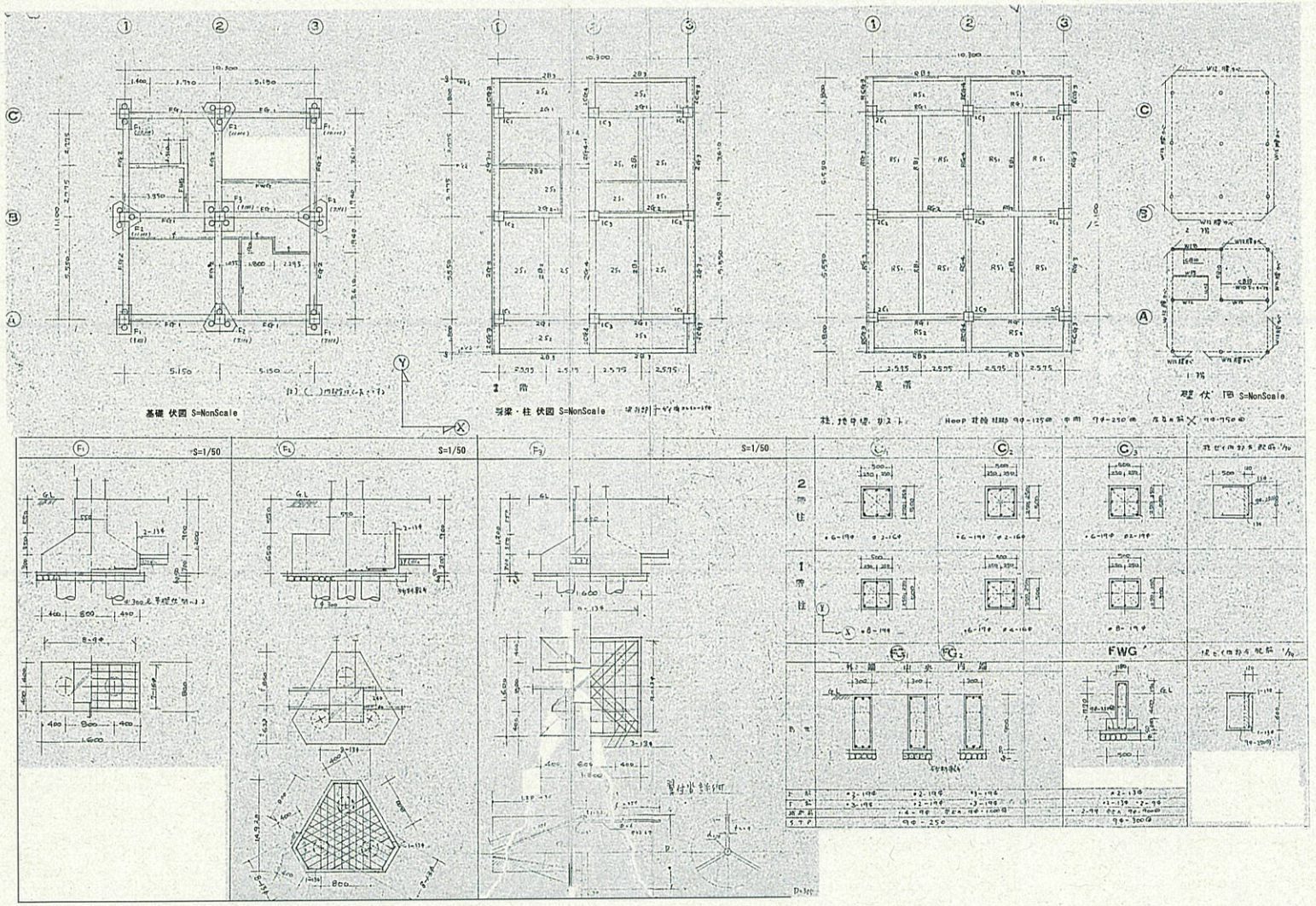
株式会社アーキテクトウイング設計事務所
一級建築士事務所 い-30 第10527号
管理建築士 一級建築士第248095号 山田基弘

建具符号	SS 1 軽量鋼製シャッター 撤去				
姿図					
位置/数量	1F 駐車場 1				
見込/仕上	- t0.8 SOP塗装				
枠見込/仕上	- SOP塗装				
ガラス	-				
付属金物	-				
備考	-				

建具符号	AW 6 アルミ製引違い窓 撤去	SS 2 軽量鋼製シャッター 撤去	AD 3 アルミ製ドア 撤去				
姿図							
位置/数量	車庫② 1	車庫② 1	燃料庫④ 1				
見込/仕上	70	t0.8 SOP塗装	70				
枠見込/仕上	-	SOP塗装	-				
ガラス	F5		F5				
付属金物	付属金物一式		付属金物一式				
備考	-		-				

建具符号							
姿図							
位置/数量							
見込/仕上							
枠見込/仕上							
ガラス							
付属金物							
備考							

特記		製図 訂正	物件名	木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他	工事設計図	図面番号	(A - 11) 28 枚の内 11	株式会社アーキテクトウイング設計事務所	
			図 名	撤去建具表(3)		縮 尺	A2 : 1/100	一級建築士事務所 い-30 第10527号	管理 一級建築士第248095号 山田基弘



特記		製図 訂正	物件名 木曽川水系土地改良調査管理事務所 宮川支所庁舎解体撤去その他 工事設計図	図面番号 (A - 12) 28 枚の内 12	株式会社アーキテクトウイング設計事務所
			図 名 構造図 庁舎(解体) 伏図・柱リスト(新築時)	縮 尺 A2 : 1/50	一級建築士事務所 い-30 第10527号 / 管理建築士 一級建築士第248095号 山田基弘